



7月 ホタルの観察会 生き物調査魚を発見!



1月 どんと祭 子どもたちによる火入



5月 お薬師様のお祭り準備  
お札は全て手作り



花谷昭広指導員

1月上旬、子ども育成会が主体となつて、どんと祭が行われる。日程調整や準備も子どもたちが中心となつて進め、やぐらへの火入れも子どもが行う。どんと祭の由来の講話もあり、伝統行事を伝えるよい機会となっている。

「皆の協力のおかげで、指導員の活動が順調に出来ている。老人クラブの方々や、子どもたちにも顔を覚えてもらえて、とても嬉しいし、自身も地区内の色々な事が分かるようになってきた。子どもたちが楽しそうに活動に参加してくれるので、やりがいを感じている。子ども頃の楽しい思い出が、大人になつてからの地区内定住につながっているのかな」と笑顔で話してくれた。

花谷さんの一年間の活動を紹介します。

- 5月 お薬師様のお祭り準備
- 7月 ホタルの観察会
- 9月 老人クラブと一緒に草刈り作業
- 10月 子ども育成会と一緒に地区内ゴミ拾い活動
- 11月 そば打ち交流会  
その他、環境美化活動も定期的に実施
- 1月 どんと祭

多面的機能支払交付金の原口地域保全会の代表も務めている花谷さん。老人クラブ、子ども育成会、婦人会など地区の活動組織と連携して農村環境を守っています。



お問い合わせ先：上山市役所農林課 電話 023-672-1111

伝統と環境を大切にした地域づくり



ふるさとを守り育てる

上山市原口地区。ここで農村環境保全指導員として活躍しているのが花谷昭広さんだ。「ふるさとを守り育てる」をテーマに、地域の伝統行事や生き物調査など、活動は多岐にわたる。

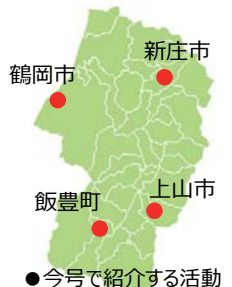
5月上旬、原口地区にある薬師如来神社で、お薬師様のお祭りが開催される。このお祭りでは、氏子会と協力し約百枚のお札を作成。祈祷した後、お札は、地区内と近隣地区の各家庭に届けられる。お祭り当日も、参拝者の案内などに大忙しだ。

7月下旬、地区内の子どもたちと共に、水路の生き物調査を実施。餌の作り方や網の仕掛け方などを教え調査開始。ドジョウやフナ、クチボソがつかまると、子どもたちの歓声がより一層大きくなる。子どもと大人が一緒になって、自分たちが住んでいる所の環境を再認識する機会となっている。また、地区内には虫が観察できる場所もあり、環境を守っていく活動も継続したいと考えている。

「農村環境保全指導員」はどんなことをしているの？

山形県では、ふるさとの豊かな自然と、美しい景観・文化資源を守り育てるため、農村地域の活性化に理解と熱意のある方を「農村環境保全指導員」として活動をゆだねて、地域の活動に対し指導助言を行っている。

現在、県内にて44名の方が活動しており、地域住民との共同活動のリーダーとなり、人と地域のつながりや、都市との交流、地域行事の盛り上げなどが行われ、地域活動の推進を担っている。まさに、ふるさと活性化仕事人である。



●今号で紹介する活動